

12. GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 電子印鑑GMOサイン

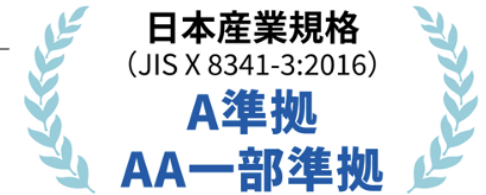
<p>機器・サービスの概要</p>	<p>電子文書(PDF)をクラウド上で契約当事者双方で確認し、ボタンをクリックするだけで契約を締結できる電子契約サービスです。</p>
<p>機器・サービスの機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 従来、視覚や身体に障害のある方々は、契約書の署名・押印を一人で行うことが困難でしたが、電子印鑑GMOサインをご活用いただくことで、書面の内容確認から署名・押印までを自ら行っていただくことが可能になります。 ● スマートフォンやパソコンがあれば、障害の有無や居住環境にかかわらず、誰もがどこからでも契約や同意の手続きを簡単に行うことができます。 ● 合意済みの契約書は、自動的にクラウド上に安全に保管されるため、紙のように紛失したり、他人に誤って見られたりするリスクがありません。必要なときにいつでも参照できることで、契約内容の確認や管理も容易になります。
<p>情報アクセシビリティの配慮内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 視覚に障害のある方への配慮 すべてのボタンやリンク、入力フォームなどの要素が音声で認識できるようスクリーンリーダーに対応しています。文字と背景のコントラスト比に配慮し、視認性を高める設計となっています。 ● 色覚多様性をお持ちの方への配慮 色が情報伝達の唯一の手段とならないよう、アイコンやパターン、説明テキストも併用しています。色のコントラストや配色に配慮し、識別しやすさを確保しています。 ● キーボード操作 マウスを使わずに、キーボードだけで全ての操作が可能です。移動や操作のためのキーボードショートカットが整備されています。 ● 操作の明確性と通知 操作手順や状態の変化が明確に伝えられ、利用者が理解しやすいインターフェースになっています。
<p>問合せ先</p>	<p>https://www.gmosign.com/form/</p>

電子印鑑なら GMOサイン



紙と印鑑で取り交わされていた契約書を
電子化するサービスです。

電子署名の操作手順



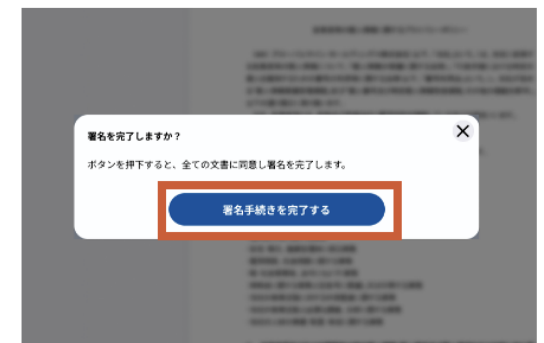
①署名依頼メール



②文書の内容を確認して署名



③署名完了



当事者ニーズを踏まえた開発

- 専門家×当事者×社内横断チームの3本柱で対応
- 専門家 日本適合性認定協会からWebアクセシビリティ検査の第三者評価機関として認められている株式会社インフォ・クリエイツの協力のもと、継続的なアクセシビリティ改善を行っています。Webアクセシビリティ専門の検査員が目視による検査を行い、Webアクセシビリティの規格に適合していない場合には随時修正を行っています。
- 当事者 当事者によるユーザビリティテストを2026年に実施予定です。
- 社内横断チーム アクセシビリティを前提とした開発体制になっており、スクリーンリーダーやキーボードのみの動作テスト実施しています。

企業としての組織的な取組

- アクセシビリティ向上への持続的体制を目的として部署横断で専門チームを設立し、各部署が連携してアクセシビリティ改善に取り組んでいます。
- アクセシビリティ・ユーザビリティを確保したデザインシステムおよびコンポーネントライブラリを開発し、画面実装者のスキルや知識に関わらずアクセシブルな画面の作成が可能となる仕組みを運用しています。
- デザインシステムは、Webアクセシビリティ検査機関の株式会社インフォ・クリエイツによる検査とそのフィードバックを参考にアップデートを続けており、デザインシステム未導入の箇所についても部署横断で相談を受ける体制を設けています。
- JIS X 8341-3:2016の達成基準をもとに社内でのユースケースなどを踏まえた実用的な自社向けガイドラインの作成を行っており、勉強会としてその内容の共有を行っています。

審査結果の概要



多様なユーザーが自立して利用できる電子契約サービス

- キーボード操作やスクリーンリーダー対応、色・文字サイズの調整など、多様なユーザーに配慮されており、障害の有無や居住環境を問わず電子契約を完結できる点が評価された。
- JISだけでなくWCAG 2.1、2.2への高い適応レベルへの対応に取り組んでいる点が評価された。



組織的なアクセシビリティ推進体制と啓発活動

- アクセシビリティの確保と向上を目指し、部署横断的な専門チームを設立し、社内勉強会や自社向けWebアクセシビリティガイドラインの作成を通じて組織的に取り組んでいる点が評価された。
- アクセシビリティを考慮した文書作成方法の啓発活動も実施している点が評価された。



専門機関との連携による品質確保と当事者テストの計画

- 日本適合性認定協会からWebアクセシビリティ検査の第三者評価機関として認められている検査機関と連携し、専門検査員による検査や継続的な改善を実施している点が評価された。
- 専門機関による検査と改善に加え、既に計画されている当事者によるテストが今後求められる。